



士幌の志

魅力

～発見・創出・体験・体感

誇り

～好き・尊敬・愛着・自信

未来

～創生・交流・夢・発信

2024  
12

作成：士幌町教育委員会

## 「令和6年度第1回士幌町学校運営協議会全体会議」開催

12月2日(月)に令和6年度第1回学校運営協議会全体会議を開催しました。

土屋教育長よりご挨拶いただいた後、中央中学校校長及びCSコーディネーター服部茉矢さんより、令和6年度上半期のCSコーディネーターを活用した実践事例について紹介していただきました。

実践事例紹介の中で、CSコーディネーターの役割や中学校の総合的な学習における目標などを踏まえ、地域と連携しながら目標を達成するプロセスについて説明いただきました。



中央中学校における総合的な学習では、「ふるさと士幌町への愛着を高め、未来へつなぐ探求の旅」を目標とし、学年毎に目標を立て、第1学年では「ふるさとを知る」、第2学年では「ふるさとを探求する」、第3学年では「ふるさとと未来をつなぐ」をテーマに、系統的な学習を進めています。そして、道の駅運営会社の at LOCAL さんをはじめ、山岸牧場さんや古田牧場さん等、町内の各種事業者様にご尽力をいただいております。

活動を通して、学校と地域の思いを繋ぐ役割を果たしたのがCSコーディネーターであり、それぞれが子どもたちのために一丸となって取り組むことができました。

CSコーディネーターを活用することで、より体験的で専門的な内容の教育活動を実現することができ、“士幌町の子どもたち”を地域と共に育て、より深い士幌への知見を醸成することができます。

これからの士幌、ひいては未来の日本を担う子どもたちに、士幌町を愛する地域の方々の仕事や技術、経験、想いが伝わることは、持続可能な社会の創り手を育む重要な“カギ”となります。

後半は、中学校での取組を受けて、「地域と連携する取組」をテーマに、各運営協議会単位で地域の教育資源や人材を効果的に活用できる現行の教育活動やサポート事業等の検証・熟議を行いました。

令和6年度も残りわずかですが、3月までの期間、そして令和7年度からも、CSコーディネーターを活用した地域と連携した取組が活発化することを願っています。



熟議「地域と連携する取組」

▼僭越ながら、4月からの8か月間のコーディネート事例を発表させていただきました。自分自身、発表にあたり、改めてコーディネーターとしての役割をかみくだくことができました▼先生の想い、地域の想いが乗った授業は、子どもたちの目を輝かせ、お互いにとってとてもよい時間になります。来年もより取り組みができるようコーディネートしていけたらと思っています▼2024年も残りわずか。皆さまよいお年をお迎えください。へびのようにのびのびした1年になりますように(服部)

CSは  
学校だけでなく、地域も子どもたちを育てていこう！という取組



大人の『本気』が子どもの『志』を育む！